



井上 麻矢

劇団「こまつ座」 代表取締役社長

1967年、作家、劇作家の故・井上ひさしの三女として東京・柳橋に生まれる。
千葉県市川市で育ち、御茶ノ水の文化学院高等部英語科に入学。
在学中に渡仏し、パリで語学学校と陶器の絵付け学校に通う。
帰国後、スポーツニッポン新聞東京本社勤務。
二女の出産を機に退職し、母として様々な職を経験する。
その後、二期リゾートで二期倶楽部東京直営ギャラリーの企画を担当する傍ら、
IFPA（英国）認定国際アロマセラピスト、フィジカルトレーナーとして活躍。
2009年4月こまつ座入社。同年7月より支配人、同年11月より代表取締役社長に就任。
2014年市川市民芸術文化奨励賞受賞。
2015年、井上ひさしから語られた珠玉の言葉77をまとめた「夜中の電話—父・井上ひさし最後の言葉」と、自身が企画した松竹映画「母と暮せば」【第39回日本アカデミー賞優秀作品賞受賞】の小説版「小説 母と暮せば」（山田洋次監督と共著）を連続刊行。
2017年1月東京新聞朝刊「私の東京物語」連載コラム執筆（月～金、2週間 全10回）

こまつ座は2012年に第37回菊田一夫演劇賞特別賞、第47回紀伊國屋演劇賞団体賞、フランコ・エンリケツ賞（イタリア）、2016年に『マンザナ、わが町』で第23回読売演劇大賞優秀作品賞を受賞。